

しち てん はっ き 七 転 八 起

校訓：自主・協同・創造

学校通信 NO. 7
令和3年 9月 1日

「自分で考える」ことの大切さ！

～充実した2学期にしよう～

長い夏休みも終わり、2学期が始まります。始業式で話をした「朝飯前にできること」を考えて行動することができましたか。みなさんにとって、少しでも有意義な41日間となりましたか。

8月20日から兵庫県に新型コロナウイルス感染拡大症対策に係る4回目の緊急事態宣言が発令されました。8月末に予定していた運動部の大会が中止となり、8月30日から部活動の休止が加わり、予定していたすべての活動が中止となりました。また、この夏休みは、長期間に及ぶ線状降水帯の影響で、日本各地に大きな災害をもたらし、連日報道される洪水や土砂災害に防災の大切さを再認識させられました。夏休み前半には、延期されていた東京オリンピックが開催され、日本選手の活躍に感動した夏休みでもありましたが、コロナ禍や自然災害により多くのことを考えさせられた夏休みとなりました。そこで、今回は「自分で考えること」の大切さについて書いてみようと思います。

ある大学で物理学を専攻する学生たちに「鳥はなぜ電線に止まることができるのか」という問題を出したところ、ほとんどの学生が、数式を使って重力や抵抗から説明しようとしたそうです。そんな中ただ1人、2週間にわたって電線に止まっている鳥を観察し、鳥の行動から結果を出そうとしたそうです。大学の先生はその生徒に優秀な評価をつけたそうです。

有名な数学者が中学の頃、授業で「三角形の内角の和は百八十度になる」ことを学び、自分で証明しようとしていました。その数学者は、夏休みに毎日いろいろな三角形を描いては分度器で角度を測り、三つの角度を足し算したといっています。夏休みだけで何千という三角形を調べたことになります。証明の仕方を勉強した人にとっては馬鹿馬鹿しい話かもしれませんが、その人は後に有名な数学者となったのですから「自分で考える」ことが大切だというのが伺えます。

結果的に制限の多い夏休みとなり、様々な観点から物事を捉えて「自ら考える」機会となりました。これからの2学期に活かされればと思います。

さて、いよいよ2学期です。文化祭や校外学習や修学旅行などの学校行事、部活動では、三木市新人大会・吹奏楽部定期演奏会があります。3年生は進路選択の時期を迎えます。やることも多く、新型コロナウイルス感染状況によっては、さまざまな変更も出てくる大変な状況ですが、1年で最も充実した期間です。「やらされる」という意識ではなく、「自から考え」行動する、そんな積極的な2学期にしてください。

校長 高森 伸彦

夏休み中の部活動

夏休み中に予定していた8月末の親善大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言が発令され中止となりました。夏休み前半は、兵庫県吹奏楽コンクールや一部の運動部の大会が開催されました。全力を尽くし、一生懸命に取り組んだ東中生は、とても立派でした。その中で、表彰をもらったものを紹介します。

【吹奏楽部】

兵庫県吹奏楽コンクール東播地区大会 中学校N部門 **金賞**

【バスケットボール部】

第29回さざんか杯 **2位**

第1試合 対 藍 26-24 第2試合 対 兵教大付属 52-3

第3試合 対 自由が丘 13-16

9月の主な予定

・2日(木) 給食開始 ・各学年内科検診は延期

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			2学期始業式 確認テスト	確認テスト 給食開始		東播新人陸上
5	6	7	8	9	10	11
東播新人陸上		専門委員会	全校集会	情報モラル 講演会(2年)		
12	13	14	15	16	17	18
					手話教室(1年)	
19	20	21	22	23	24	25
	敬老の日			秋分の日		三木市新人大会 県新人陸上
26	27	28	29	30		
吹奏楽部 定期演奏会 (南交流C) 県新人陸上						